

記事を読んで、問いに答えましょう。

2023年6月18日朝刊東部版



小浜池満水 60年ぶり早さ 三島・楽寿園

富士山からの地下水が湧き出る三島市立公園「楽寿園」の小浜池が、2年ぶりに「満水」となった。この時期に同園が「満水」とする150㌢を超えるのは、5月24日に満水に達した1963年以来、60年ぶりの早さ。旧小松宮別邸「楽寿館」や周辺の新緑が水面に映える珍しい景色を、多くの来場者が楽しんでいる。

同園によると、9日に今年初めて満水を記録。その後も湧水の増加が続き、17日は155

60年ぶりの早さで満水となった小浜池
＝三島市の楽寿園

台風2号の大雨影響

㌢だった。今月初めの台風2号による大雨の影響が大きく、梅雨入りが早かったのも要因とみられる。夏場に向けて水位は高くなる傾向にあり、例年は1～2カ月の間、満水状態が続くという。

小浜池は、水の都・三島の象徴として多くの人々が訪れる観光スポット。同園では中央付近の池底を水位ゼロとし、水面の高さを毎朝計測している。水位ゼロを初めて観測した62年以前は常に満水だったが、近年は1年の大半が渇水状態となっている。

(三島支局・岡田拓也)

①記事の小浜池はどこにありますか。

例 三島市立公園「楽寿園」

②小浜池の水位は何に関係して変化しますか。

例 富士山からの地下水(湧水)

③小浜池が60年ぶりの早さで満水になった理由を記事から読み取って書きましょう。

例 (6月初めの)台風2号による大雨や梅雨入りが早かったなどの要因

④外国から来た人たちに「小浜池の紹介」をしたいと思います。あなたなら、小浜池について、何を中心に紹介しますか。記事を参考に、30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

例 ・富士山からの地下水が湧き出て小浜池がいっぱいになるところ。(29字)

・常に満水だった小浜池も近年は湧水が減り渇水が続いていること。(30字)

・小浜池は水の都・三島の象徴として多くの人々が訪れるところ。(28字) など